

Lecture 授業No.98 教科書P.157～

T.Q.「フイヤン派・ジロンド派の崩壊とは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.157・158

T.Q.「フイヤン派・ジロンド派の崩壊とは？」

1. ヴァレンヌ逃亡
2. 立法議会
3. 8月10日
4. 国民公会
5. ジャコバン派

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. ヴァレンヌ逃亡事件と91年憲法制定
2. 8月10日事件でフイヤン派崩壊
3. 内閣の失政でジロンド派崩壊

T.Q.「フイヤン派・ジロンド派の崩壊とは？」 教科書P.157～

(4) 1790 の改革 ex.ギルド廃止、メートル法 ※1

(5) 立憲王政主義者の焦り ※2

1 1791. 6月、ヴァレンヌ逃亡事件

...王一家がオーストリアへ(失敗) ※3

2 急いで91年憲法制定[立憲王政、制限選挙制]

(6) 10月、立法議会の成立

{ 右(保守): フイヤン派 ex. ラ＝ファイエット

{ 左(革新): ジロンド派...共和政を目指す ※4

1 1792. 4月、ジロンド内閣が オーストリアに宣戦

but 連敗 ∴ 義勇軍がパリへ ※5

2 8月10日事件...王党派を打倒

∴ 王権停止＝フイヤン派崩壊 ※6

最後のスライドはここまで！

2 8月10日事件... 王党派を打倒

∴ 王権停止＝フイヤン派崩壊

——— ここから

③ 共和政 T.Q.「フイヤン派・ジロンド派の崩壊とは？」 教科書P.157～

(1) 9月、**国民公会**成立←史上初の男子普選

1 王政廃止＝**第一共和政**スタート

cf. **ヴァルミーの戦い**で初勝利...国民軍が常備軍を破る [※7](#)

2 { 右:ジロンド派

{ 左:**ジャコバン派**...「もっと平等」← 下層民・農民の支持 [※8](#)

3 1793. 1月、ルイ16世のギロチン 刑。仏軍、ベルギー 占領

∴ 2月、**第1回対仏大同盟**(英首相**ピット**中心) [※9](#)

4 ジロンド内閣の失政

外: 英・オランダ・スペインに宣戦

内: 農民反乱(←厳しい徴兵)

∴ 6月のクーデタでジロンド 派も崩壊

[※T. A. まとめスライドへ](#)

最後のスライドはここまで！

クリック①: **メートルの根拠**

クリック②: **グラムの根拠**

※1

↓解説 1790年ギルドを廃止し、営業の自由の確立をめざした国民議会は、同年当時不都合さが指摘されていた不統一な^{どりようこう}度量衡に代わる国際的な新しい統一単位の創設を決定した。1799年に正式採用されたメートル法は、地球子午線長の4000万分の1を1メートル、真空中での一定量の蒸留水(0℃)の重さを1グラムとした。

↓メートル法の制定を知らせるビラ



※2

立憲王政を革命のゴールと考えた二人(フイヤン派)

クリック①: **人権宣言のラ=ファイエット**

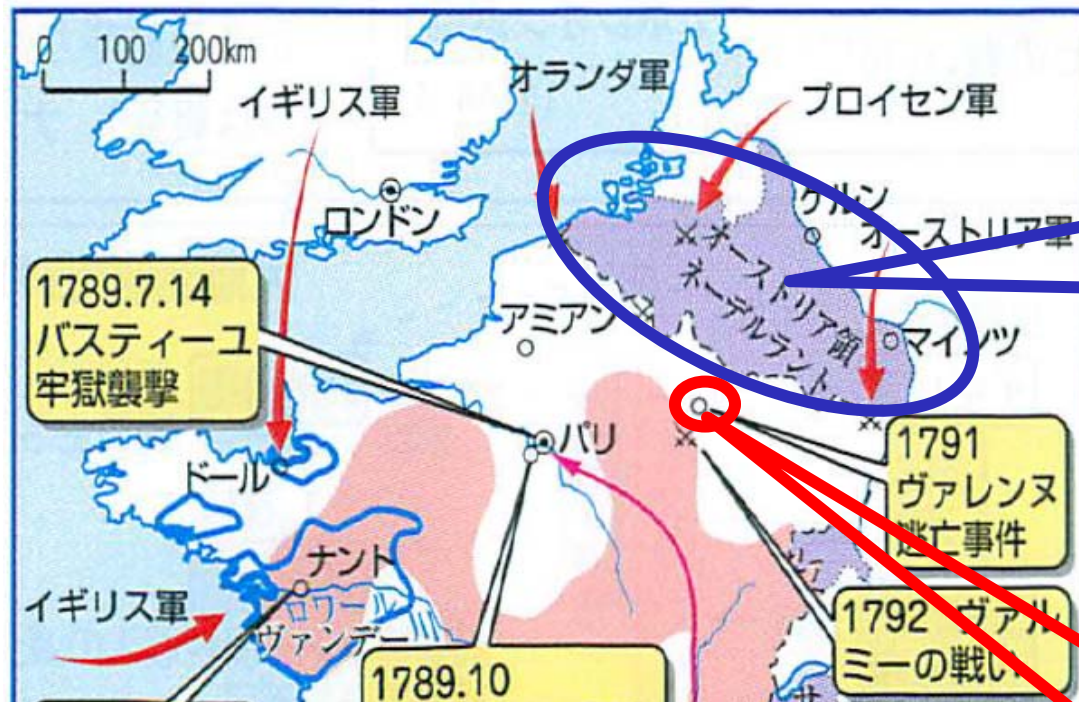
クリック②: **「王とのパイプ役」のミラボー**



↑ **ラ=ファイエット**
(1757~1834) 米独立戦争に参加した自由主義貴族。立憲君主政を目指し国民議会を指導。



↑ **ミラボー**(1749~91) 自由主義貴族, 国民議会成立に貢献。立憲君主政を志向, 裏で国王と取引をしていた。



クリック①:

1714年に、スペイン領から
オーストリア領に「戻った」
南ネーデルラント(今のベルギー)

クリック②:

国王一家の
オーストリアへの逃亡未遂事件
が発覚した

国境付近のヴァレンヌ村

クリック③:

アントワネットと
フェルゼンの別れ
(スウェーデンの伯爵)



クリック①～③: 革命派の3派(だんだん「急進」化＝左傾化)

※4

フイヤン派
バルナーヴ, ラファイエット
立憲君主派
王権制限・
経済活動の自由)

ジロンド派
ブリッソ
穏健共和派
(革命の指導勢力)

ジャコバン派
(**山岳派**)
ロベスピエール,
マラー, ダントン
急進共和派

VS

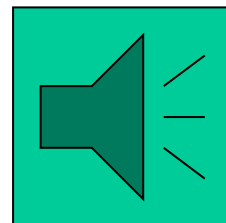
王党派
エミグレ^{きひ}・忌避聖職者として反革命勢力となる。
ただし, 下級聖職者や地方貴族は第三身分へ合流

Q. 英ピューリタン革命の議会派の3派なら、
何に当たる？

→クリック④～⑥でA.

長老派＝ **フイヤン派**
独立派＝ **ジロンド派**
水平派＝ **ジャコバン派**

38 ラ=マルセイエーズ



(1分9秒)

ルジェ＝ド＝リールが作曲し、マルセイユから発した義勇軍が歌っていた「ライン軍のための軍歌」を原曲とするフランス国歌が「ラ＝マルセイエーズ」である。

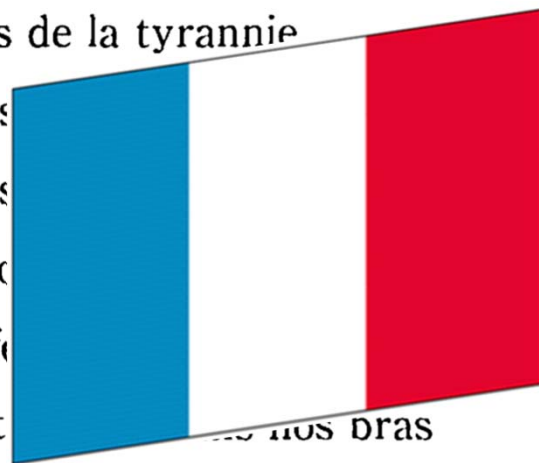
その歌詞と訳は下に掲載したが、「血に飢えた」といった内容が物議をかもし出したことは記憶に新しい。

この曲はその後様々な作曲家が編曲したり、自分の作品のなかに取り入れている。編曲としては革命作曲家であったゴセック（カボットで有名）が公式版に近いものを、ハンガリーのコダーイは児童合唱に、フランスのベルリオーズは独唱・合唱：管弦楽をあわせた大規模な演奏に適したものに編曲している。モーツァルトはピアノ協奏曲第25番（K.503）に、ビートルズ（レノン＆マッカートニー）は「オール・ユー・ニード・イズ・ラヴ」に、チャイコフスキーは「荘厳序曲 1812年」にラ＝マルセイエーズを使っている。

フランス国歌「ラ=マルセイエーズ」② [※5②BACK](#)

〔ラ=マルセイエーズ〕 クリックで、フランス国旗「三色旗」

Allon, enfants de la patrie,
Le jour de gloire est arrivé !
Contre nous de la tyrannie
L'étendard s
L'étendard s
Entendez-vo
Mugir ces f
Ils viennent
Egorger nos fils nos compagnes !



(Refrain)

Aux armes citoyens !
Formez vos bataillons !
Marchons ! Marchons !

Qu'un sang impur
Abreuve nos sillons !

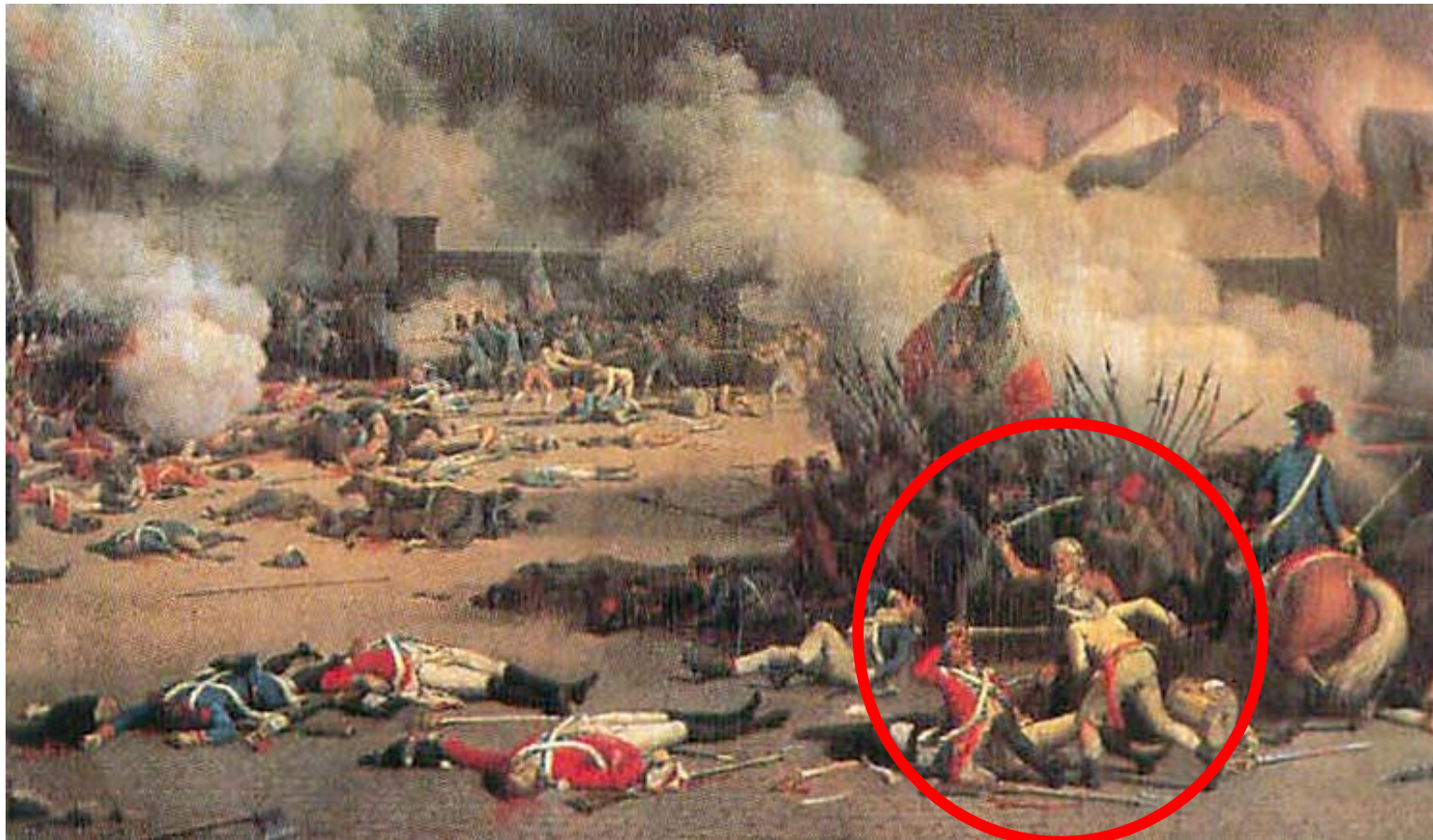
ゆけ、祖国の子どもらよ
栄光の日はやってきた
私たちに向かって圧政の
血なまぐさい旗が立てられた
血なまぐさい旗が立てられた
山野に聞こえるか
荒々しい兵士が吼えるのが
彼らは我らの腕の中まで迫り
子どもや妻を殺そうとしている

武器を取れ。市民たち
君たちの部隊を作れ
すすめ。すすめ。

穢れた血で
私たちの田畑を潤そう

クリックで、

国王を守る
貴族の兵士
(王党派？
フイヤン派？)
を殺害する
**義勇兵と
パリ民衆**
「サン=キュロット」



8月10日事件(1792.8.10) 革命戦争(対オーストリア
宣戦)遂行のため、パリ民衆と義勇兵は敵国オーストリア
と通じる国王一家の居住していたテュイルリー宮殿を襲撃
した。王権は停止され、革命は新段階に入った。

↓ゲーテ
(1749~1832)



クリック①→②: 常備軍に打ち勝つ国民軍
クリック③: ゲーテの肖像

※7

ヴァルミーの戦い(1792.9.20)



フランスの義勇軍がオーストリア・プロイセンの職業軍人に勝利した。プロイセン軍陣中にあったゲーテは「この日ここから世界史の新しい時代が始まる」と評したといわれる。



クリック①～③:革新派(左)だったジロンド派が、
保守派(右)に変化

クリック④:「左派」の語源

※8

ジロンド派
ブリッソ
穏健共和派
(革命の指導勢力)

VS

フィヤン派
バルナーヴ, ラ＝ファイエット
立憲君主派
王権制限・
経済活動の自由)

1792年の8月10日事件でフィヤン派崩壊

ジャコバン派
(山岳派)
ロベスピエール,
マラー, ダントン
急進共和派

VS

ジロンド派
ブリッソ
穏健共和派
(革命の指導勢力)

＝国民公会の会議場で、左側の席に座ったこと
(「左翼」、「左派」の語源)

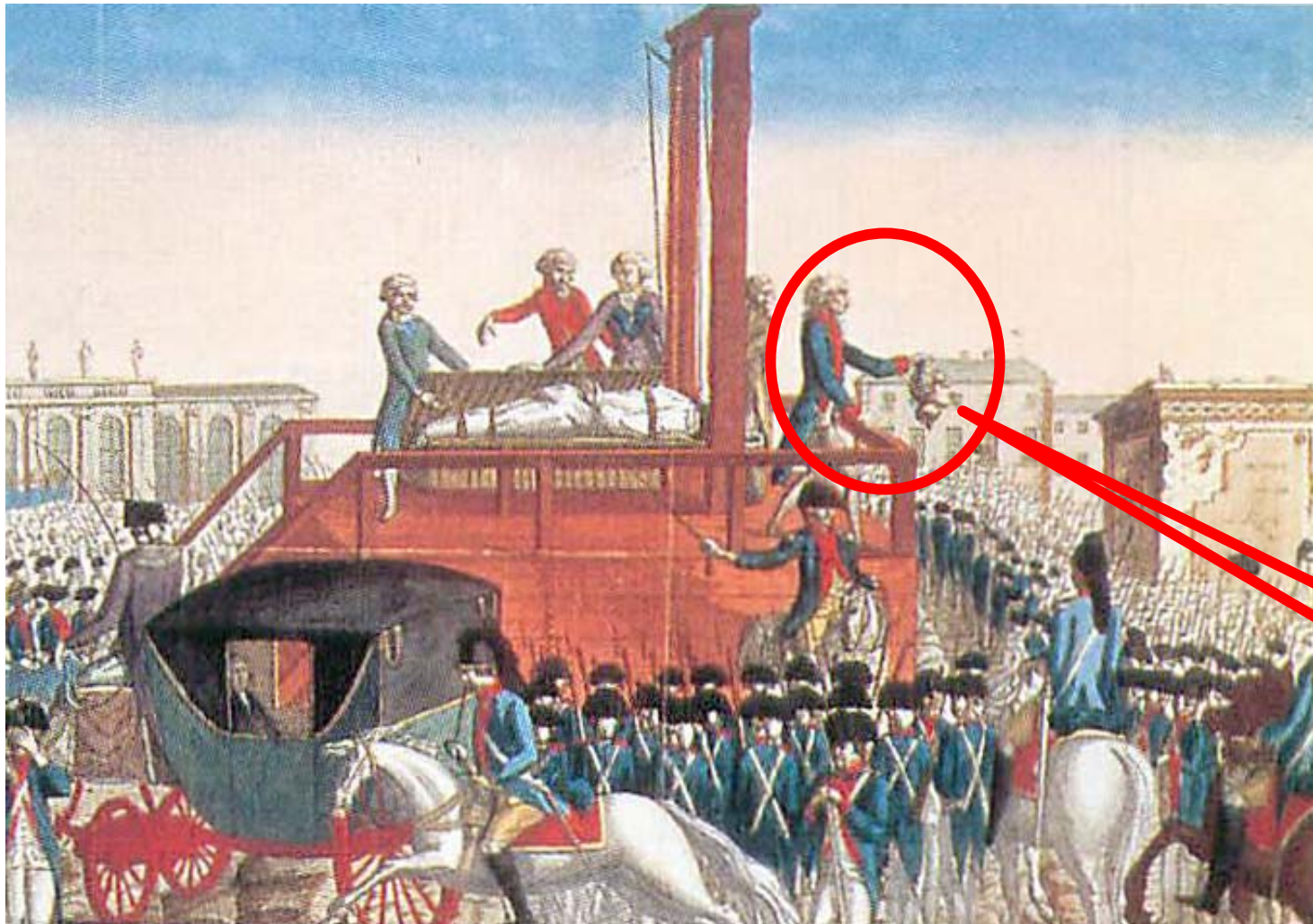
※9

クリックで、
民衆に
さらされる

「元国王」
ルイの首



↑ アニメ
「ベルサイユのばら」
(裁判でのサン=ジユストと
ロベスピエールの演説
→わずか1票差で
処刑が決定)
(1m25s)



ルイ16世の処刑(1793.1.21) サン=ジユストら過激なジャコバン派の主張で王は処刑された。その後内外の危機に対しジャコバン派が独裁により克服を図った。

Lecture 授業No.98

T.Q.「フイヤン派・ジロンド派の崩壊とは？」

ヴァレンヌ逃亡事件で急がれた91年憲法に基づく立法議会が成立。左翼（革新派）のジロンド派と貴族中心の右翼（保守派）のフイヤン派の対立は、92年の8月10日事件で後者が崩壊して終わる。王権停止後の国民公会では逆に右翼側となったジロンド派による内閣は内外の失政で新左翼のジャコバン派によるクーデタで崩壊した。